

<目的>

▶「トラック産業の将来ビジョンに関する検討会」においては、平成22年7月の中間整理において、最低保有車両台数のあり方、適正運賃收受に向けた取組みについて、「規制緩和以後の課題」とされたところであり、学識経験者、有識者、荷主団体、業界団体、トラック事業者、労働組合、行政等の関係者からなるワーキング・グループを設け、課題解決に向けた検討を行う。

トラック産業の将来ビジョンに関する中間整理(平成22年7月7日 抜粋)

(略)、新規参入に係る最低車両台数のあり方、適正な運賃の收受に向けた取組みに関し、ワーキンググループを設置し検討を進める。

<開催経緯>

第1回WG(平成22年10月13日開催)

- ・ワーキンググループの設置について
- ・最低車両台数に関する現状と課題について

第2回WG(平成22年10月20日開催)

- ・トラック事業における運賃・料金制度の現状
- ・トラック運賃に係る調査報告について
- ・当面の調査・分析の進め方、アンケート調査の実施について

第3回WG(平成23年3月7日開催)

- ・最低車両台数のあり方について

第4回WG(平成23年9月8日開催)

- ・運賃料金等に関する実態調査結果について

第5回WG(平成23年12月27日開催)

- ・これまでの議論の論点整理及び検討の方向性について

第6回WG(平成24年7月30日開催)

- ・とりまとめの方向性について

第7回WG(平成24年10月15日開催)

<委員名簿>

野尻 俊明	流通経済大学 教授 (座長)
齊藤 実	神奈川大学 教授
徳田 賢二	専修大学 教授
秋池 玲子	ボストンコンサルティンググループ パートナー&マネージングディレクター
森田 富士夫	物流ジャーナリスト
佐藤 正弥	一般社団法人日本経済団体連合会産業 政策本部 主幹
坂本 克巳	公益社団法人全日本トラック協会 副会 長
天野 智義	社団法人東京都トラック協会 副会長
小幡 銀伸	社団法人愛知県トラック協会 会長
山浦 正生	全日本運輸産業労働組合連合会 中央執 行委員長
山口 浩一	全国交通運輸労働組合総連合 中央執行 委員長